

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361



FAX: 042-7957361

職員・市長給与引上げに反対

市議会第4定例会の総務常任委員会が開かれ、条例や予算案の審査を行いました。その中に、急きょ提出された、一般職員、市長等の給与改正案(引き上げ案)等がありました。内容は、期末手当を年3回から2回に変更するものですが、その中身は、支給月数をアップして、年間給与総額を引き上げる内容が含まれる案であり、反対討論を行いました。

東京都の一般職員の給与引上げを東京都人事委員会が勧告したことに合わせて、町田市が市内事業所の給与調査をすることなく、勝手に東京都のやり方を準用するものです。町田市の場合は、市長の給与もそれ(一般職員の引き上げ)に応じて、アップとなります。多くの自治体では、市長が自分の給与アップだけは自粛したり、あるいは議会も含めてアップさせる措置を取っていますが、町田市の場合はそうした考慮やバランス感覚が皆無です。その証拠に、非正規職員はこうした給与アップの措置が全く取られておらず、これでは、職員間の不公平、格差助長を促進する観点の施策に基づくものであるという趣旨を含めた批判をしました。本会議では、保守の会全員がその値上げ案に反対しました。



町田市が付ける名称の不思議さについて

町田市が市の施設に関して付ける名称について、最初に意見を言ったのは、同僚の大西宣也議員です。今建設中のものに薬師池公園の関連整備がありますが、その名称はと言うと、「町田薬師池公園四季彩の杜ウェルカムゲート」と名付けられています。その名称が長すぎないか、この名称を果たしてどれだけの人が見ることが出来るか」という趣旨の質問でしたが、もっともな話だと誰しも思いました。



なお、今回、「町田市美術工芸館」の指定管理者を決める議案を全会一致で可決しました。これは適切だと思いますが、町田市がこの名称にとっても似た施設(仮称:町田市立国際工芸美術館)の基本設計作業を進めています。もちろん、内容は全く別ものであり、前者は以前からある施設で障がい者の社会参加と自立した生活を支援のために、美術工芸品作り、販売を目的とした事業です。方や、収集した中国清代の喫煙具や海外のガラス器や陶磁器のための大々的な展示施設を造ろうという不思議な文化箱もの施設造りの大事業がなされようとしています。

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

3期連続TOP当選! 町田市議 吉田つとむ (社会体験)インターンシップ生募集中!!



HP Mail

個別対応スタイルが好評の研修メニュー

連絡先 mail: yoshidaben@gmail.com
〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13

TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

仕事先 〒194-8520 町田市森野2-2-22
町田市議会 TEL. 042-724-2171

<2018年選挙で3期連続トップ当選! 政党無所属。
2016年に議長就任、2018.3満了。所属:保守の会>
URL: <https://yoshidaben.jp/>

☆ インターンに興味を持ったなら、ぜひ上記の
アドレスへ、名前、学校名、学年を明記の上、
メールを送ってください! →エントリーシート送付します(応募書類は秘密厳守)



① インターンシップの内容(希望に応じた研修カリキュラムが特徴)



1. 研修期間: 長期の休暇期間や、通常の学業期間の間で空いた日程、休日に研修を行うことが可能。長期、短期は問わないが最低10日間以上。時間は相談可。
2. 応募対象: 大学生、院生。住所は町田市以外でも問題なし。
3. 研修日数: 週に一日以上。ただし、柔軟に対応。
4. 受け入れ人数: 原則、同時に2人前後まで。
5. 参加費: 無料。原則、参加者の交通費と食費を支給。
6. 事前の知識: 政治的な知識等は一切必要なし。1年生も参加OKで実績多数。将来、政治家志望の必要は全くなし。あくまで社会体験が目的。
7. 活動拠点と訪問先: 町田庁舎、東京内外の企業、団体、施設
8. 参加方法: ●本人申し込み、家族、過去の参加者の紹介。
●大学からの紹介(単位取得が一部大学で可能)
9. 充実した経験: 1998年より研修生の受け入れを継続し、多方面の分野に人材が進出し活躍する。

主な就職先: 教育出版、銀行、信金、国会、商社(総合、専門)、自治体、生保、損保、証券、不動産、ITソフト、SNS・ゲーム、国際ビジネスコンサル、化学、航空機材製造、石油資源、マーケティング、番組制作、イベント、食品、物流、航空、旅行、化粧品等の各分野。□教師、管理栄養士、弁護士(3人目)が活躍。□フェアトレード会社を海外で創業して社長(6期生女性)、起業した会社が一部上場企業に飛躍する現役社長(1期生男性) □地方議員が1名 □幾人も海外へ

2020年春季(第45期生)のインターンシップ生の応募を待っています! 期間途中の参加もOKです。

* 研修メニューはインターン生の希望に沿って考慮します。

詳しい応募要領は裏面も参照してください。チャレンジ希望の学生を歓迎します。2020.1.16 吉田つとむ



吉田つとむ

インターン生が出来ること

体験内容	体験種類	有無	体験項目(吉田は議長も経験済み)
参加	会う	○	研修会、勉強会、イベントの参加
訪問	話す	○	個人、企業、公共施設などの訪問
主催	運営	○	セミナー、コンサートの企画運営
会議傍聴	聴く	○	本会議、委員会などの会議傍聴
調査・視察	観る・書く	○	資料の整理と分析、現地調査
政策立案	書く	○	議会質問の取材・草稿の作成
公報物作成	書く・撮影	○	レポート作成、HP・動画作成
事務	書く、応接	○	市議会会派室などで一部作業
街頭活動	演説・配布	×	インターン生は参加しない
政党関係	活動参加	×	本人は政党に属さず支持政党なし



請願者と紹介議員として懇談



議事堂入口



行政の幹部と面談

3人目の弁護士が誕生し、活躍中



主催したコンサートの演奏家と記念撮影



ブラジル大使館訪問(ワールドカップ開催中)



就労支援店舗訪問



オリンピック会場見学

交通安全運動イベント出席



教育系出版社を訪問



理系女子は大学院から就職 町田シルクメロン栽培施設見学 最大手教科書会社を訪問



今までの参加者の大学(院)生って？

太字は3名以上受入の実績

青山学院大、桜美林大、大原専門、神奈川大、共立女子大、**慶応大**、国際基督教大学(ICU)、恵泉女学園大、駒沢大、芝浦工大、首都大東京、**昭和女子大**、上智大、白百合女子大、成蹊大、成城大、専修大、創価大、**玉川大**、津田塾大、**中大**、帝京短大、東海大、**東大**、東京家政大、東京外語大、東京経済大、東京女学館大(現在、廃校)、東京都市大学、東京薬科大、東洋英和女学院大、日大、東京女子大、一橋大、**フェリス女学院大**、法政大、**明大**、**明治学院大**、早大、(五十音順) *吉田つとむは、1998年～2019年夏までの間に、大学院生を含むインターン生を合計88名(女子54名、男子34名)受け入れています。

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

公道通行妨害を市が長年容認

市の借り上げ地を持ち主に返還する裁判所の和解がまとまり、議会も承認したところの、その後の土地の現況を確認に行きました。持ち主はこの土地を農地にするための作業=開墾の工事を行うことになっていきましたが、町田市(スポーツ課)に周辺環境整備を協力してもらえず、この作業・工事がなかなか進められないという状況確認を行いました。



土起しの作業が行われたことが明白な地面

土地に重機を持ちこんで「土」の入替を行う作業を行うには、公道にダンプトラックを通す必要がありますが、その公道は塞がれて困難な状況でした。議会で一般質問をした内容「公道をふさぐ形で障害物があることを町田市が放置している」ことで、スポーツ広場の現況が周辺の農地の耕作作業の支障になっている点を指摘しました。この質問前後を比較すると、公道の通行利用状況が幾分か改善できましたが、返還地の持ち主にとっては、ようやく、スポーツ広場を「農地」にする作業の一步目を進めるきっかけの状況でした。

現実が高齢者の市民税負担の方が大(2)

今回、町田市は受益者負担の公平化という行政方針で、65歳以上の世代に関していくつかの高齢者に対する軽減措置が取られているものを廃止する議案がありました。私は以前から、多くの人が働く時代に65歳以上を高齢者と呼ぶのは止めようと言ってきました。その理由は、今日まで15歳から64歳までを生産年齢人口、それ以外の世代を「従属人口」と見なす慣習を取っており、町田市(行政・議会)も率先して「生産年齢人口」とそれ以外を分けた用語を平気で使用しているのは現状にそぐわないと主張して来たわけです。

現実社会では、64歳で就業を終える人はどんどん減少しており、ある人はそのままその仕事を継続し、また別の人は新たな職場や職種を探して第2の就労に入っています。そうした経緯で、若い世代に比べて、どのくらいの収入を得ているか、市民税の世代間負担はどうなっているかを尋ねましたが、町田市はこれまでその分析をやってきませんでした。行政が世代に関係なく公平な負担を求めたいなら、速やかに、60歳台、70歳台に対して、高齢者の用語を町田市の印刷物、ネット記載から一掃すべきです。(続く)



★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です
★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。